

SFDCアセスメントサービス概要

はたらく楽しさを、
いっしょにつくる。



2013.12

株式会社インテリジェンスビジネスソリューションズ
クラウドソリューショングループ

1. SFDCアセスメントサービスの目的・目標

2. アセスメントサービスの対象

3. 本アセスメントの調査方法

4. 本アセスメントの調査結果の提示方法

Ⅰ 目的

SFDC（Salesforce、Force.com）で開発されているシステムが、お客様ビジネスの目標を達成させるためのツールとして有効に機能し活用されているか客観的に評価し、課題の明確化と改善を検討する足がかりとなることを目的とします。

Ⅰ 目標

以下の状態になることを目指します。

- システムの現状が明確化されている
- 運用の現状（利活用状況と利活用促進状況）が明確化されている
- あるべき姿とのGAPから課題が整理（明確化）され、解決の方向性が見えている

｜アセスメントの対象範囲は以下と致します

MotionBoard・Autobarnなど

Salesforceで開発されたシステム。（Appexchange含む）
（連携させている他システムについては、概要の理解の程度とします）

｜アセスメント実施者

システム(業務)担当者とその上司の方を想定。

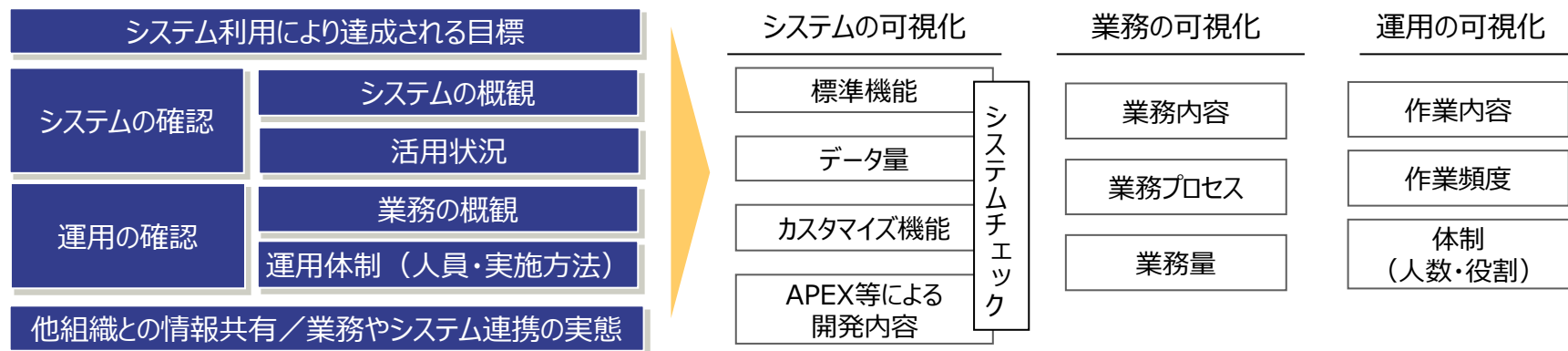
※アセスメントの質問事項は組織内の体制や役割、達成目標、システム概要、運用（システム管理）、概要など多岐にわたるため、サービス管理体制全般を把握されている方からの正確な情報が必要なため

調査の対象について以下に示します。

業務やシステム等、利活用状況と課題整理に必要な情報を収集・整理します。

項目	主な実施内容	調査手法
背景の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容 システム導入経緯 	インタビューにて情報収集
事業内容やシステム利用目的の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業におけるシステムの役割 そのシステムを利用することによって達成されるべき数値目標/状態目標 現状に於ける課題認識 	
現状の業務/システムの確認	<ul style="list-style-type: none"> システム概観/他システム連携状態の確認 活用状況あるいは活用促進状況の確認 業務フローとシステムとの乖離状況の確認 	インタビュー及び実際のシステム確認や現場見学にて情報収集

情報整理の概観



本アセスメントの実施スケジュール

はたらく楽しさを、
いっしょにつくる。

Intelligence
Business Solutions

初回訪問

今回のアセスメントについての目的と認識を合わせます。
また、簡単に現在感じていることやお困りごと（システム/業務/運用など全般）などを伺います。

NDA締結 事前調査項目送付

実際にアセスメントに入る前にNDAを締結します。
また、アセスメントヒアリング項目を送付し事前にご準備いただきます

調査実施

業務やシステム等、利活用状況と課題整理に必要な情報を収集・整理します。
（前ページ参照）

ディスカッション 実施

現状の調査結果をもとにディスカッションしながら、よりよい改善の方向性についてご提案させていただきます。

報告書提出

アセスメントの結果やディスカッション結果をまとめた報告書を提出し、アセスメントサービスを終了。

※弊社にて改善の実施をご希望の場合は、別途提案書を提出。

ここまでを無料で提供

Ⅰ アセスメント調査報告書を提出致します。

アセスメント調査報告書には以下内容が記載されております

☆目次例…

- アセスメント利用の背景
- 現状把握
 - 事業内容とシステムの役割（あるべき姿）
 - システム概観
 - 利活用状況と利活用促進状況（運用・保守含む）について
- アセスメント結果
 - システムにおける現状の問題点
 - 利活用における現状の問題点
 - 総合評価
- 品質改善ポイントのご案内（具体的な打ち手のご提案）